



ぶらり 山口

*Yamaguchi city
Guide Book*

Bu-Ra-Li



思うまま、

ぶらり

気ままに、

山口市観光ガイドブック

山口市
YAMAGUCHI CITY

軍事センス抜群の大村益次郎

実戦経験がなかったのに、幕府軍3万人に対して、長州軍1000人で勝利した益次郎。その方法は、最新式の武器と洋式の戦術を巧みに取り入れ、秘密な戦略のもとで合理的に攻撃を加えるものでした。戊辰戦争では、江戸の町が戦火を受けて済むように計算し、激戦でありながら決着のタイミングを的中させるなど、軍略家の才能を発揮。



大村益次郎生誕地跡 (生誕P.21)

西郷隆盛や坂本龍馬もみんな山口に集合

薩長同盟に向けて、薩摩の西郷や大久保利通、土佐の龍馬らビッグネームが、山口を訪れています。一の坂川沿いに建っていた枕流亭(生誕P.5)では、流水音を聞きながら激論を交わし、湯田温泉にも逗留したと伝わっています。



西郷隆盛 (国立国会図書館蔵)



木戸孝允 (国立国会図書館蔵)



坂本龍馬 (国立国会図書館蔵)



維新アーク
開港場の中心

幕末長州藩主毛利敬親は、藩庁を萩から山口に移しました。そのため、木戸孝允や西郷隆盛、坂本龍馬ら、多くの志士たちが山口に集り、薩長同盟など天下の大事を語り合いました。山口市は、明治維新という歴史の転換期の中で「明治維新の策源地」となったのです。

山口市は明治維新の策源地

明治維新

ぶらり山口



明治維新策源地 山口市
開港場跡 1869年、2013年

きっかけは松下村塾から日本を変えた人材が続々と

外国の知識を学ぶため密航しようとして失敗した吉田松陰。その謹慎中に萩で開いたのが松下村塾でした。高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文など、これら先の長州藩を動かす人材が育っていました。

高杉晋作

初代奇兵隊総督。藩庁移転後は時おり山口に滞在しました。1864年に下関の功山寺で拳拳。藩政を覆し、抗幕にまどめました。維新前に病没。



(国立国会図書館蔵)

周布政之助

幕末の長州藩の指導者。改革派の盟主として高杉晋作、久坂玄瑞、木戸孝允らを登用するとともに洋式軍事改革などを実施。



(山口県立山口博物館蔵)

鎖国から開国へのきっかけ
開国をめぐる国内混乱

1853年6月
【黒船来航】
1858年
【安政の大獄】
1860年3月
【桜田門外の変】

勝利に開国を進めようとする幕府に対して、反対運動が起きました。幕府は吉田松陰を含む反対派を、次々に処刑・反発した浪士が幕府の要人を暗殺するなど、開国をめぐる国内が混乱しました。

1862年
長州藩、京都政界へ
【朝廷、攘夷の方針を決定】

朝廷が攘夷を決定。公武合体を方針としていた長州藩が、方向転換。攘夷派公家と結束し、京都の政治の中心的役割を果たしていきます。

山口が藩の中心に
1863年4月
【毛利藩主萩から山口へ】

攘夷に備えて、海からの攻撃を避けられ、藩の中心にあり、軍事的、政治的にも便利な山口に藩庁を移転しました。

攘夷決行
1863年5月
【下関で外国船攻撃】

朝廷の圧力に屈した幕府は攘夷を行うことを決定しました。しかし、決行の期日に攘夷を行たのは長州藩だけでした。

長州藩、突然の失権
1863年8月
【八月十八日の政変】

幕府を守りたい、会津藩と長州藩を追い落とし、久松義典の思惑が致。両藩が突然のクーデターを起こし、長州藩と攘夷派の公家(七卿落ち)は京都から追放されました。

復権を画策、そして失敗
1864年6月
【池田屋事件】
1864年7月
【禁門の変】

京都に池田屋に、長州藩士らが密談をしていたところ、新撰組が踏み込み、長州藩士を含む攘夷志士が命を落しました。復権をねがった長州藩は、京都に軍隊を率いて反撃しましたが、薩摩藩、会津藩等に敗北。完全に京都の政治の舞台から追いやられました。

幕府に降伏
1864年8月
【第一次長州征伐(幕長戦争)】

朝廷の命令を受けた幕府は、禁門の変の罪を罰するため、35,000人を超える征長軍を編成し、藩主がいる山口に進軍。長州藩はこの日、降伏し、幕府に従う保守派が主流となり、同年11月に幕府の降伏を受け入れ謝罪しました。

外国との圧倒的武力差
1864年8月
【四国連合艦隊が報復攻撃】

英仏蘭米の連合艦隊が、攘夷の報復に下関を砲撃。最新式軍備を備えた艦隊に完敗。外国との力の差を思い知らされました。

長州藩の方針、抗幕、そして倒幕へ
1864年12月
【藩政をかけて長州藩で内戦】

改革派(高杉晋作、奇兵隊など)が立ち上がり、保守派と大田給堂(美作)などで戦い、改革派が勝利しました。これにより、藩政が抗幕へと変わりました。

抗幕へ向けて大きく前進
1866年1月
【薩長同盟】

幕府に対抗する力をつけた長州藩と、倒幕によって朝廷を中心とする強い国家を作りたいと考える薩摩藩。思惑が一致した両藩は、坂本龍馬、中岡慎太郎等の仲介を経て、軍事同盟を結ぶことになりました。

長州藩が幕府に勝利
1866年6月
【第二次長州征伐(幕長戦争)】

薩摩藩の協力、洋式軍備を備えた長州藩は、大村益次郎、高杉晋作、井上馨らの活躍もあり、幕府軍を退けました。これをきっかけに、幕府の威信が大きく揺らぐことになりました。

倒幕時代は明治へ
1867年10月
【倒幕の密勅】
1867年10月
【大政奉還】
1868年1月
【戊辰戦争】
1868年10月
【明治改元】

幕府を倒そうとする思想

幕府に抵抗して争う思想

山口御形図 (山口県立山口博物館蔵)



長州藩の思想

幕府と朝廷が協力して体制の強化を図ろうとした思想

天皇を立て、外国勢を打ち払う思想

幕府に従う(謝罪恭順)

抗幕(武備恭順)

新政府 倒幕

Column

損な役回りも引き受けながら近代日本の基礎を造った井上馨
山口・湯田温泉出身。改革派の中心人物の一人として、高杉とともに攘夷や倒幕運動で活躍しました。維新後は、外務・大蔵・内務などの大臣を歴任。実業家としての顔も持ち、政財界に大きな影響力がありました。財界との密接な関係などにより悪評もありましたが、大臣職に就きながらも、誰も引き受け手なかった公使(大臣下り)を引き受けるなど、「人の縁がある場な役を嘗て出る特徴があった」(鮎川義介)と評されています。命を捨てても、近代日本のために努力した一面がうかがえます。



(国立国会図書館蔵)

京のお公家さん、優雅な山口滞在

政変により京都を追放された三条美実や攘夷派のお公家さんたち。山口にやってくると、湯田温泉の井上馨宅を増築した何通亭などに住んでいたようです。意外にも、松茸狩りや鳳凰山登山、酒盛り、桜見物を楽しんでいたそうです。



何通亭跡 (生誕P.12)

奇兵隊の始まりは山口だった!?

毛利敬親は下関の軍備のために、晋作を萩から山口へ呼び寄せました。晋作は、身分にとらわれない軍隊「奇兵隊」を作るよう提案、結成します。他にも同じような隊が数多くできたことから、各隊は山口・後河原にあった諸隊会議所集まって方針を決めるようになっていました。



洞寺寺(生誕P.6)には、陣士がつけたと伝わる刀傷が残っています。

住まい確保に奔走? 萩からの集団お引っ越し

藩庁の移転に伴い、役人などが大量に山口へ。仮住まいとして、「十間亭」(生誕P.7)など地元豪商の屋敷や離れなどが使われました。

久坂玄瑞

松陰が見込んだほどの英才。藩の方針が攘夷に向くよう力を尽くしました。攘夷活動であちこち飛び回中、山口では十間亭に滞在。禁門の変で自害。久坂の妻で松陰の妹・文も、夫の死後、山口に移住。毛利家お世継ぎの守り役として仕えていたようです。



今も残る藩庁跡(生誕P.6)と堀に、名残を感じませんか

最先端の西洋式城郭「山口城」

今の県庁がある場所に西洋式の城郭を造ることになり、1864年1月に工事開始、11月にはほぼ完成していました。ところが、同じ時期に起こった第一次長州征伐により、幕府からの命令で山口城の主要施設が取り壊しに…。翌年から修復をしつつ、山口を拠点にした体制を再び整備していったのです。



殿様の地位を捨ててください! 木戸孝允、苦渋のお願い

版籍奉還を成功させようとして動いていた木戸。他藩主の手本となるように、毛利敬親にお願いに行きました。先祖代々の領地や領民を手放すことになるのに、日本の行く末を見ていた敬親はあっさり了承。逆に行実のタイミングを図るようアドバイス。敬親からの激励に木戸は涙したと言われています。

※各藩に対する天皇への土地・人の返還命令



迫る幕府、外国からの攻撃 混沌とする長州藩

幕府への対応に揺れる中、1864年9月26日藩主の前で会議を開催。降伏すべきとする保守派に対して、改革派・井上馨は「幕府に申し開きをしつつ、戦の備えをするべき」と主張。湯田温泉への帰郷道、保守派の襲撃を受け、瀕死の重傷を負います。さらに翌日、周布が追いつめられる長州藩への責任を感じ、自刃するという事件も。



周布政之助の墓 (生誕P.12)



井上馨陣跡の碑 (生誕P.21)

新政府軍が掲げた「錦の御旗」

1867年、討幕の勅命が下り、品川弥二郎は京都西陣で材料を購入し、養蚕所の一室で御旗の製作にあたりました。ここで製作された錦の御旗が、鳥羽伏見の戦いにおいて官軍の陣頭に立てられました。



毛利敬親公顕像 (サビエル記念聖堂そば 亀山公園 生誕P.21)

もくじ

Contents

ぶらり
明治維新1

ぶらり
大内文化探訪5

ぶらり
湯田温泉へ行こう9

ぶらり
SL「やまぐち」号
で行く13

ぶらり
歴史の道・萩往還15

ぶらり山口の食17

ぶらり山口の食
〈お土産篇〉19

ぶらり
中部エリア21

ぶらり
南部エリア23

ぶらり
北部エリア25

山口
イベントカレンダー27

山口観光案内29

料金等については平成26年4月
時点のものです。

日本海



維新の志士も通った街道。
当時の人々の気持ちになって
歩いてみよう。

詳しくは
P.15へ



山口といえは
萩往還

山口といえは
「やまぐち」号
SL

煙突から
噴き出す煙、
息をき切って
走る姿は迫力満点!

詳しくは
P.13へ



萩市

美祿市

歴史、文化、自然と
見どころ満載
中部Area
詳しくは P.21へ

山口といえは
湯田温泉
白狐が見つけた
美肌の湯。
足湯もたくさん
ありますよ。

詳しくは
P.09へ



宇部市

瀬戸内海を眺める
ビュースポットが点在
南部Area
詳しくは P.23へ



お食事は、
車えびの
フルコース
で決まり!

詳しくは
P.17へ



山口といえは
車えび
料理

津和野町



山と緑がいっぱいの
自然スポット
北部Area
詳しくは P.25へ

愛らしい表情の大内人形。
作者によって顔が違うので、
お気に入りの顔を探してみよう。

詳しくは
P.19へ

山口といえは
大内人形



大内文化の香りを
感じながら、
コースに沿って散策を
お楽しみください。

詳しくは
P.05へ

山口といえは
大内文化

山口といえは
山口七夕
ちようちん
まつり

ゆらゆらと灯る
紅ちようちん。
思わず見とれるほどの
幻想的な光景が
広がります。

詳しくは
P.27へ

ぶるっとした食感と
上品な甘さの外郎。
各店舗の食べくらべも
楽しい。

詳しくは
P.19へ



山口といえは
外郎

山口市を訪れたら
ここは押さえて
おきたい
観光スポット!

詳しくは
P.05へ

山口といえは
瑠璃光寺
五重塔



ぶらり 山口

Bu-Ra-Li

Yamaguchi city Guide Book



室町時代、大内氏が京を模して築いた山口には、華やかな大内文化の面影を色濃く残す史跡が点在しています。香山公園周辺、堅小路周辺をルートに沿ってぶらりと散策しながら、大内文化の香りを感じてみませんか。

大内文化探訪



大内文化とは？

室町時代、山口を中心に栄えた大内文化。守護大名の24代大内弘世が京に憧れを抱き、山口の地で京に模した街づくりを始め、大内氏に倣った大内文化が、大内氏に滅亡するまでの約200年間、京や大陸の文化に影響され、独自の文化が生み出されました。

大内氏は、朝鮮王朝や明との交易で手に入れた強大な経済力を背景に、水墨画家・雪舟をはじめ多くの文化人を招いて、文化の興隆に尽力しました。



五重塔 コース



町屋をイメージして作られた観光案内所。散策の計画を立ててみては？

営業時間／9時～18時
休業日／年中無休
TEL 083-934-6630

五重塔 01

高吉2年(1442)、26代・大内盛見が兄・義弘の供養塔として建立。上層はほど塔身が細くなるすりばしとした立ち姿と、檜皮葺屋根の伸びやかな反りが美しく、日本三名塔の一つに数えられています。全国に数多い五重塔の中でも、この五重塔は4基のみで、三名塔では唯一の檜皮葺です。日没～数時間ライトアップされます。

司馬遼太郎文学碑
（長州は、いい塔をもっている）と惚れ惚れするおもしろい文が刻まれています。

小説家・司馬遼太郎が「街道をゆく」で五重塔を紹介した1文が刻まれています。

香山通りの石垣
かつて錦山館周囲の土壁に使われていた石で造られています。

知事公舎跡地を通る遊歩道を進もう！竹林散策ゾーンやベンチのある広場があります。（利用時間）7:30～18:15

井上馨の墓
洞春寺の本堂裏に井上馨の墓があります。

洞春寺 座禅体験
一般の方を対象に行われる座禅体験。誰でも気軽に参加できます。日時／毎週土曜日19:00～所要時間／座禅が1時間、茶話30分～1時間程度予約・不要

香山墓所 04
萩藩主毛利家の墓所。毛利敬親と夫人、跡継ぎの元徳など、計7基の墓があります。

露山堂 03
毛利敬親が藩庁を山口に移した際に、藩庁内に建てられた茶室。敬親が家来らと倒幕の密議を凝らしたとされています。明治24年にこの地に移築されました。

枕流亭 02
幕末、薩摩藩の西郷隆盛や大久保利通、長州藩の木戸孝允らが倒幕の密議をした場所。元は一の坂川沿いにありましたが移築を繰り返して、昭和35年にこの地に移されました。

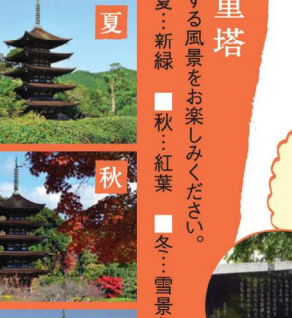
山口県政資料館 07
山口県政資料館(旧県庁舎)は大正5年に完成した。西洋の建築様式と和様式が融合した大正建築。現在は山口県政に関する資料を展示しています。隣の旧県会議事堂も見学できます。

藩庁門 08
長州藩13代・毛利敬親が幕末の有事に備え、藩政の中心地を萩から山口へ移転。藩主住居の森門として石門が完成しましたが、第1次長州征討の際に破られました。明治維新後、改めて建造された藩庁門が山口県庁に現存。県指定重要文化財。

洞春寺 06
洞春寺の場所には1400年頃、26代大内盛見が建立した国清寺がありました。山門はその創建当時のものとされています。全国的に貴重な四脚門が特徴。

開館時間／9:00～16:30
開館日／月曜日・祝日(5/5、11/3は閉館)・年末年始(12/28～1/4)
入館料／無料
TEL／083-933-2268

四季の五重塔



季節によって変化する風景をお楽しみください。

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

五重塔の裏にある遊歩道を2～3分ほど登って行くと、檜皮葺の屋根を近くから見てみよう！

一の坂川・豎小路コース

山口市菜香亭 01



山口市菜香亭は、明治10年頃に料亭として創業し、山口県出身の政治家や文人らが利用してきた「菜香亭」。平成8年に料亭としての幕を閉じたが、平成16年に移築復元されました。現在は、山口の観光拠点として利用されています。

観覧時間／9:00～17:00
休館日／火曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始(12/29～1/3)
入館料／大人(高校生以上)100円、子ども(小学生以上)50円
駐車場／70台(無料)
TEL／083-934-3312



大戸幸光や佐藤栄作などの显彰を大広間に展示。

着物のレンタル・着付けサービス
大内文化の香りが残る山口を舞台で散策しませんか？
土曜・日曜日・祝日 9時～17時
2時間未満 2800円
2時間以上 3600円
※着付け料・着替え料・クリーニング料は別途
※お申し込み・お申し込み・お申し込み
※お申し込み・お申し込み・お申し込み
予約 前日までに要予約
山口市菜香亭
083-934-3312



レンタサイクル
あります！
普通自転車 1日4時間未満 1000円
1日4時間以上 1400円
半日2時間未満 300円
半日2時間以上 510円
※自転車・ヘルメット・お茶は別
※お申し込み・お申し込み・お申し込み
山口市菜香亭
083-934-3312



大広間でお抹茶セットも楽しめる。

龍福寺 04

【重要文化財(本堂)】
【国指定史跡(大内氏退路跡)】

建永元年(1206)、18代大内満盛が創建した臨済宗の寺。弘治3年(1557)に現在の地に再建されました。室町時代の代表的な寺院建築として、国の重要文化財に指定されています。



平成23年に屋根が破瓦葺から檜皮葺にリニューアル。
美しい檜皮葺に注目。

山口ふるさと伝承総合センター 09

古い造り酒屋を保存整備した「まなび館」では、ゲジボタルの人工飼育の紹介や大内文化・伝統工芸を展示。隣接する「たぐみ館」では、大内製作の見学や大内塗箸づくり体験ができます。「みやび館」は、明治24年に建てられた民家・旧美祿邸を移築・再現したもので、自由に観覧できます。

開館時間／9:00～17:00
休館日／8/14～8/16・12/29～1/5
入館料／無料
TEL／083-928-3333

大内塗箸づくり体験
山口の伝統工芸品・大内塗の体験ができます。漆と金箔でオリジナル模様の箸を作ります。

所要時間／30～60分
料金 860円(送料別途)
事前予約必要
お申し込み・お申し込み・お申し込み
山口ふるさと伝承総合センター
083-928-3333



コミュニティスペース「ひだりだや」

県内唯一の檜皮葺師が代表を務める「ひだりだや」がオープンした施設。工場見学やプラフト体験等、その魅力を間近で体験することができます。

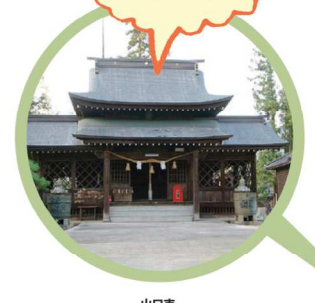


大内氏館跡・庭園

龍福寺がある場所にはかつて大内氏の館があり、大内氏はこの地で政務をとりました。龍福寺周辺には、復元整備された枯山水庭園、西門、池泉庭園、土壁があり、当時の雰囲気を感ずることができます。高嶺城(こうのみねじょう)とともに戦日本100名城に選ばれました。

八坂神社 10

八坂神社境内一帯には、28代大内教弘が築いたとされる築山館がありました。築山館は、大内氏の居館であるとともに、交易使節や諸国大名の使者を接待する遊覧館としても使われてきたとされています。



山口市菜香亭まで 徒歩4分



雲谷庵跡 11



一の坂川・豎小路散策
古くからの町並みが残る豎小路は、萩往還として参勤交代の御成道にもなりました。一の坂川・豎小路周辺には大内・小路と付く街路が数多く残っており、歴史ある街並みを感じさせてくれます。昔ながらの町屋を利用した個性的なショップやカフェも点在しているので、のんびりと散策を楽しむことができます。

周辺のお店マップは
大路口ビー おさんぽMAP
で検索してみてください。



一の坂川のどこかに五重塔が見える横があります。探してみよう！



室町時代、京を横して作られた山口の街。一の坂川は、京都の鴨川に見立てられました。春には桜やツツジ、初夏にはゲジボタルの名所となっています。

やまぐち維新さんぽ
十朋亭に残っていた久坂玄瑞常用の湯呑み。一の坂川エリアのカフェでは、その湯呑みを再現した「久坂常用湯呑「レプリカ」」で美味しいコーヒーなどをお楽しみいただけることになりました。あわせて久坂玄瑞など志士の衣装の貸出しも。(有料)幕末維新ヒストリーに思いを馳せながらのぼっこりひととき、オススメです。詳しくは、大路口ビーまで。

志士が集まり、桂小五郎、高杉晋作、久坂玄瑞、大村益次郎、伊藤博文も宿したと伝えられています。※現在改装中。平成30年10月オープン予定。
TEL／山口市文化財保護課 083-920-4111



古く町屋を改修した休憩スポット。チョット聞きたい周辺の情報を提供しています。
営業時間／10:00～17:00
定休日／火曜日・金・年末年始
TEL／083-920-9220



文龜3年(1503)、30代大内義興が建造したのが今の社殿とされています。横間、拝殿、本殿までを一直線上に連結させる構造で、山口地方に多く見られる様式。横間、拝殿、本殿ともに国の重要文化財に指定されています。



豊栄神社は、毛利輝元が萩に居城を移した際に、毛利元就を祀ったのを始まりとしています。明治に入ってから山口に移されました。隣接する野田神社は毛利敬親を祭神としており、敬親の子・元徳を配祭神としています。

豊栄神社・野田神社 02

今八幡宮 03

大路口ビー 05

十朋亭 06

山口サビエル記念聖堂

山口市菜香亭から車で5分



凌雲寺跡

山口市菜香亭から車で20分



常栄寺雪舟庭
【国指定史跡及び名勝】
山口市菜香亭から車で5分

足をのばして。

山口県の中心部に位置する湯田温泉。豊富な湯量を誇る温泉郷として知られ、古くから親しまれてきました。山口県の中心部にあることから県内観光地へのアクセスが良く、瀬戸内海・日本海にも近いので新鮮な海の幸が味わえるのも魅力です。また、幕末に活躍した維新志士も立ち寄り、詩人・中原中也を輩出したことから、関連史跡も数多く点在しています。温泉・食事と併せて散策もお楽しみください。

湯田温泉へ行く



湯田温泉とは

湯田温泉の起りには、約800年前といわれ、けがをした白狐が傷を癒すために浸かっていたという白狐伝説が残っています。湯量が豊富でアルカリ性単純温泉の肌によく馴染むやわらかい湯が特徴。「美肌の湯」とも呼ばれています。

■泉質：アルカリ性・単純温泉
 ■源泉：無色透明の湯で、7つの源泉の最高温度は72度
 ■湯量：1日2000トの豊富な天然温泉
 ■効能：神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみくしき、慢性消化器病、冷え性、健康増進、他
 ■美肌の湯：アルカリ性が高麗炭は、肌をすべすべにする効果があります。

楽しみ方・活用篇



ふぐ刺し
本格的なフグのフルコースから、気軽に食える半皿コースなど、店舗によって様々なので、二丁に合わせ選択できる



ふぐ唐揚げ
ふぐ雑炊

いろんな食の楽しみ方
 グルメのまち・湯田温泉

山口県のはば中央に位置する湯田温泉では、山口市内産の特産品はもちろ、山口県内各地から新鮮な食材や美味しい山口グルメが集まっています。居酒屋、レストラン、バー、カフェと様々な店舗で山口グルメを提供している、「温泉」だけでなく「食」も楽しむことができます。



山頭火と鯨竜田湯



「ばりそば」や「瓦そば」、シメもご当地グルメで!

こんなことができる施設!



湯田温泉に宿泊すれば 県内へのアクセス抜群!

湯田温泉は、山口県の中央に位置していることから、主要な観光スポットへのアクセスが良く、車で平均約60分、徒歩約30分で行くことができます。そのため、湯田温泉を宿泊拠点にすることで、自由自在に山口県内をめぐる観光プランを立てることが可能になります。



ぶらり

1泊2日でこんな観光しました!

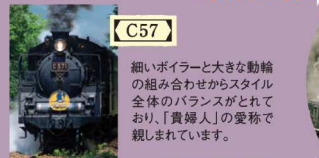


湯田温泉泊



レトロ客車

明治、大正、昭和と、それぞれの時代を表現したレトロ感いっぱいのお客様を牽引しています。



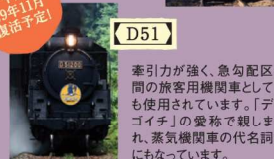
C57

細いボイラーと大きな動輪の組み合わせからスタイル全体のバランスがとれており、「貴婦人」の愛称で親しまれています。



C56

C57と比較すると一回り小振りのC56は「ボニー」の愛称がついています。



D51

牽引力が強く、急勾配区間の旅客用機関車としても使用されています。「デゴイチ」の愛称で親しまれ、蒸気機関車の代名詞にもなっています。

SL全盛期の復刻客車で昭和初期レトロ風に!

昭和初期に製造された「マイテ49」「オハ35」「オハ31」の復刻モデルに客車がリニューアルされ、投炭ゲームやSL運転シュミレーターなどお楽しみコーナーも充実。昭和初期の雰囲気を楽しめるSL「やまぐち」号です。



昭和13年、特急「富士」(東京～下関)に使用するため製造された「マイテ49」の客車と展望車を復刻

昭和14年から製造され戦前・戦後に全国で活躍した客車「オハ35」を復刻

オリジナルグッズ SLチョコ口Q

山口線沿線の新山口駅、湯田温泉駅、山口駅の店舗でお求めください。SL車内での販売もご用意。お問い合わせ/(株)ジェイアールサービスネット広島 TEL082-261-2611



旅のおとも「駅弁」

新山口駅おみやげ街道、SL運行日は新山口駅1番ホームの臨時売店で様々な駅弁を販売しています。中には、SLに関する駅弁や山口ならではの駅弁があるかも?!



蒸気機関車に水を補給するための給水塔。現在は使われていませんが、1922年に建てられたレンガ造りの給水塔が残っています。



重連運転

駅名看板

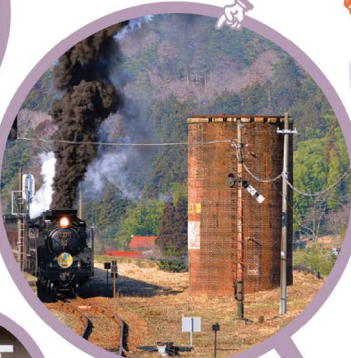
レトロな時刻表



SL「やまぐち」号が出発する。新山口駅ホーム1番乗り場には、こんなレトロな時刻表が!

新幹線との接続
東京や鹿児島遠隔地でも新幹線にのればその日のSLに乗車も可能。

篠目駅の給水塔



撮影タイム

往路では、地福駅で15分程度停車します。SLを降りて広げたホームで記念撮影!



津和野駅 転車台

SL「やまぐち」号の終着駅である津和野駅。到着したSLは、構内の転車台で向きを変え、復路の運行の準備を始めます。自由に見学できる広場があるので、作業風景をじっくり見ることが出来ます。



津和野でSLを見よう!

津和野

徳佐

鍋倉

名草

地福

三谷

渡川

長門峡

篠目

山口

湯田温泉

矢原

大蔵

上郷

新山口

周防下郷

津和野

徳佐

鍋倉

名草

地福

三谷

渡川

長門峡

篠目

山口

湯田温泉

矢原

大蔵

上郷

新山口

周防下郷

津和野

徳佐

鍋倉

名草

地福

三谷

渡川

長門峡

篠目

鉄橋を渡るSL

峠越え

トンネルは要注意

乗ったらずを振ろう!



山口線の「貴婦人」の愛称で親しまれている蒸気機関車「C571」に乗って、レトロな雰囲気漂う鉄道の旅に出かけませんか?

SL「やまぐち」号

新山口を出発し、湯田温泉、山口、長門峡、そして、山陰の小京都・津和野まで、62.9kmを約2時間かけて走るSL「やまぐち」号。かつて、全国の蒸気機関車が廃止される中、昭和48年10月、山口線からもSLは姿を消しました。その後、多くのSLファンや地元を中心にSL復活への気運が高まり、昭和54年9月、山口線にSLが復活することになりました。現在も「貴婦人」の愛称で親しまれる「C571」。多くの人々を乗せて山口線を駆け抜けています。

運行区間
新山口駅～津和野駅(1日1往復)
運賃
3月、11月の土曜・日曜・祝日・夏休み期間(全席指定)
全席指定
乗車券のほかには乗車指定券が必要。乗車1ヵ月前の10時からJRの窓口の窓口旅行会社で購入可能。
電話予約
0080-224-489
(受付時間8時～22時)

SLは、石炭を燃やして走るの、煙を出します。SLがトンネルに入る時は、窓を閉め、展望デッキにいる方は車内へ移動しましょう。

湯田温泉駅前足湯
湯田温泉駅には、SL「やまぐち」号を見ながら入れる足湯があります。停車時間に合わせて行ってみよう!
(停車時間) 11:04頃/17:14頃

湯田温泉
山間にある仁保駅。往路では、石炭を燃やして、急勾配を登るための準備をするため6分程度停車します。

乗ったらずを振ろう!
SLに乗ったら窓の外に向かって手を振ってみよう。沿線にいる地元の方々が手を振り返してくれるかも。

維新の志士たちも駆け抜けた、
萩〜山口〜防府をつなぐ歴史の道「萩往還」。
歴史ロマンあふれる萩往還を歩きながら、
武士や庶民、幕末の志士たちの想いを
感じてみませんか。

歴史の道 萩往還



萩往還
とは

萩市・山口市・防府市をつなぐ
萩往還は、毛利氏が慶長9年
（1604）萩城築城後、江戸
への参勤交代での「御成道」と
して開かれました。日本海側
の萩（萩市）と瀬戸内海側の三
田尻港（防府市）をほぼ直線で
結び、全長はおよそ53km。江
戸時代の庶民にとって山陰と
山陽を結ぶ「陰陽連絡道」と
して重要な交通路であり、幕
末には維新の志士たちも往來
し、歴史の上で重要な役割を
果たしました。

（社）日本ウチキギ協会の協定
（500道）
■歴史の道
■美しい日本の歩きたくなるみち
（500道）

維新の
志士も歩いた
萩往還

幕末には、
吉田松陰、高杉晋作、木戸孝允、
伊藤博文、坂本龍馬なども、
この萩往還を歩いて
行き来していました。
日本の夜明けを目指して
駆け抜けた志士たちに
思いを重ねながら
歩いてみませんか？



萩城跡
建物は解体され、現在は
堀と城壁の一部、石垣が
残っています。1863年、
毛利敬親が山口に藩庁
を移すまで、ここが藩政
の拠点となりました。

唐樋札場跡
萩の町がこの先から見えな
く
なってしまうことから、振り返って
涙するといふ「涙松」。安政の大
獄で江戸送りになった吉田松
陰もここで一首読んでいます。

涙松跡
萩の町がこの先から見えな
く
なってしまうことから、振り返って
涙するといふ「涙松」。安政の大
獄で江戸送りになった吉田松
陰もここで一首読んでいます。

山口市
山口IC
山口駅
山口山線
山口山線
山口山線

防府市
防府東IC
防府西IC
防府駅
防府天満宮

三田尻舟倉跡
藩主が乗る舟が保留
していた場所。吉田
松陰や坂本龍馬ら
も、この三田尻から各
地を行き来しました。

萩往還を歩いてみよう

（天花坂口〜国境の碑）約3km（約90分）

天花坂口〜国境の碑のコースは、
萩往還の中でも難所の四十二の曲がりを歩きます。
石畳のポイントも多いので、往時に想いを馳せながら、
萩往還の雰囲気を楽しむことができます。

国境の碑 07

長門国と周防国の国境を示す碑。創設年代は不詳ですが、宝暦年間（1751〜1763）作成と推定される絵図に記入されているので、その頃には存在していたと推定されます。

キンチヂミの清水 05



冷水が湧き出ているという「キンチヂミの清水」。大正初期まで、ところを清水で冷やして通行人に売っていたそうです。

一の坂一里塚 04



石で積み上げた一里塚。主要な街道には一里（約3.927km）ごとに塚が築かれました。この一里塚は、萩往還の中間点にあたります。

六軒茶屋跡 03



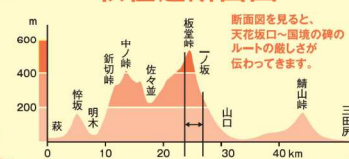
萩往還には茶屋が所々にあり、ここには昔、六軒の茶屋があり、軒先を茶店にして旅人をもてなしていたことから六軒茶屋と呼ばれるようになりました。

天花坂口 01



山口から萩へ向かう場合、この天花坂口から萩往還最大の難所がはじまります。

萩往還断面図



板堂峠 06



標高537m。萩往還で一番標高の高い峠道です。現在は、砂利が敷かれています。

石畳のワケ

萩往還の途中で現れる石畳は、歴史の道らしい雰囲気を感じさせてくれます。しかし、石畳なので、歩きにくいところがあります。萩往還は、急峻な坂道や峠などの難所が多いのが特徴。そこで、土砂が崩れないようにしっかりと舗装するため、石畳を敷いたのです。

（石畳ポイント）
萩往還の中で石畳の部分を
示しています。

四十二の曲がり 02



天花坂口から六軒茶屋まで、急勾配の坂がいっぱい続きます。「ここは一の坂四十二の曲がり」降りてくだされたんな様」という詩歌があります。

やまぐち萩往還
語り部の会

萩往還の歴史を学び、萩往還をガイドする案内人を派遣する「やまぐち萩往還語り部の会」が発足。有料で萩往還の案内人として活動しています。
お問い合わせ先
やまぐち萩往還語り部の事務局
山口県萩市（シンジツ）協会
TEL 083-920-3323
（平日13時〜17時30分）

「裏」萩往還

毎年11月に山口市で開催される「山口天神祭」では、御神幸行列が賑々しく、大市〜中市〜米屋町〜道場門前〜西門前〜山口駅通りと、萩往還とは異なるルートで賑々しく歩きます。地元ではこのルートが萩往還という認識が強くあるそうで、「裏」萩往還と呼ばれるようです。





あとう和牛

阿東エリアの大自然の中で大切に育てられた「あとう和牛」。のびのびと育てられたあとう和牛は、独特のまろやかな舌触りが特徴です。良質な脂はどんな調理法にも合います。



あとう和牛のステーキ

ココで食
べられる
ココで買
える
■道の駅「長門峡」など



海の幸

瀬戸内海に面しており、日本海にも近い山口市。瀬戸内海、日本海の両海で獲れる新鮮な海の幸を提供することが可能です。山口県内には、アグ、ケンサキイカ、ハモ、車えび、瀬つさあじなどのブランド魚が多く、山口市内の宿や飲食店などでは地元の鮮魚を積極的に取り入れた料理を提供しています。



ハモシイ



ハモシイ



くりまさる

甘みの強い阿知須エリア特産のカボチャ。栗より糖度が高いので「くりまさる」と名付けられました。メロンとはほぼ同じ糖度で、その甘味とホウホクした食感が特徴。スイーツ、コロッケ、煮物など、甘味を生かした料理に適しています。収穫期は7月～8月など。

道の駅「きららあじす」には、くりまさるを使用したソフトクリームやかりんとうなど、くりまさるスイーツがいっぱい！

ココで食
べられる



はなっこりー

中国野菜のサイシンとブロッコリーを交配・育成した山口県オリジナル野菜。花も葉も茎も食べられ、しゃきっとした歯ごたえと甘味のあるのが特徴。サラダ、和食、洋食、中華と、幅広い料理に合います。収穫期は9月～4月。



はなっこりーの生ハム巻き



やまのいもの麦とろごはん



やまのいも

徳地エリアで栽培される「やまのいも」は、非常に粘りが強いのが特徴で、コシがあります。150年前から徳地エリアで栽培されていたという記録があるようで、古くから地元の人々のスタミナ食品として親しまれてきました。「つくねいも」「仏掌いも」とも呼ばれます。収穫期は11月など。

ココで買
える

■特産品・特産物加工販売所 南大門

ココで買
える

■山口県内のスーパーなど（季節や仕入れによってはない場合もあります）



ばりそば

太めの中華麺を揚げ、野菜の入ったとろみのある鶏ガラベースのスープをかけた料理。「ばりそば」という名称は、麺がバリバリしていることに由来しています。ばりそばを提供する店舗は市内に数店舗あり、山口市のご当地グルメとして愛されています。

山口大内御膳【二献】

明応9年(1500)、室町幕府の第10代将軍だった足利義満が山口を訪れた際、30代大内義興がもてなした献立を忠実に再現しました。当時なかった醤油や砂糖などは使わず、塩と味噌、酢、酒などで味を再現したのが特徴。

お問い合わせ 山口観光コンベンション協会 TEL083-933-0088



山口のご当地グルメ

山ぶらりの食

海や山に囲まれ、豊かな自然に恵まれた山口。海産物、畜産物、農産物、土産物など、多彩な「山口の食」をお楽しみください。



車えび

秋穂エリアは、車えび養殖発祥の地。一年を通して新鮮な車えびを食べることができます。秋穂エリアの宿や食事処では、刺身、焼き物、フライ、天ぷらと様々な車えび料理が味わえるコース料理を提供しています。車えびの踊り食い、尾がピンチピンチ動くほどの新鮮。通き通った身は肉厚でプリプリとし、甘みも十分です。

ココで食
べられる

■国民宿舎海鏡の宿 あいお荘
■秋穂エリアの店 など

ココで買
える

■道の駅「あいお」
■特産品ショップ「やまぐちさん」など



山口の食

お土産篇

いろいろ 外郎

わらび粉を主原料として、小豆、小麦粉、砂糖などを練り合わせて蒸したのが山口の外郎。ぶるっと柔らかい独特の食感と、上品で深い味わいが特徴です。山口を代表する伝統銘菓として、多くの人に親しまれています。

山口の生外郎

真空包装せずに、蒸した外郎をそのまま包んだ「生外郎」は、日持ちがしないため、山口でしか味わうことができません。山口を訪れたら「生外郎」を探してみてください。

名古屋の外郎との違い

名古屋の外郎が名物ですが、山口の外郎とは少し違います。名古屋の外郎が米粉を主原料としているのに対し、山口の外郎はわらび粉を主原料としています。名古屋の外郎がもちもちとした食感で、山口の外郎はぶるっとした食感となっています。

山口の外郎 見くらべ 食べくらべ

山口市内には、外郎を製造・販売している店舗が多くあります。店舗によっても、大きさや味が違ったり生外郎があったり食べくらべてみるのも楽しいですよ。

■ 瀬田温泉観光回遊施設 狐の足あと

細長いタイプ、

小ぶりでお食べやすい

定番は小豆味と抹茶味。

白、黒、抹茶…、色も様々。

ラムレーズン入り！

夏みかん味。

大納言入り。

りんご味やさくら味。

干しえび

秋穫の赤えびを釜ゆでし、天日で干したものです。えびの甘味や美味しさが噛むほどに味わえます。酒の肴としてそのまま食べても、料理に加えても、美味しくいただけます。

■ 秋穫エリアの土産店などで販売しています。

■ 道の駅「あいお」 ■ 特産品ショップ「やまぐちさん」

小郡まんじゅう 小郡饅頭

こしあんを薄皮で包んだ焼き饅頭。柔らかでしっとりした餡の味わいが特徴。「○」と「一」をあしらった「小郡まんじゅう」と、「小」の文字が入った「小郡饅頭」とがあります。

■ 新山口駅の土産店など

りんご

阿東エリアで栽培されるりんごは、その気候から糖度が高いのが特徴です。このエリアには、西日本最大の観光りんご園が広がり、時期によって異なりますが、ふじ、つがる、ジョナゴールドなどの品種を味わえます。

地酒

清らかな水と良質の米で作られた山口の地酒には、近年、全国的に注目が集まっています。山口県オリジナル酒米「西都の幸(さいとのしずく)」で作られたお酒には、目印の札が付いています。同じ酒米を使っても、酒造場によって味わいが異なります。お土産にピッタリの山口県産素材で作られた地酒です。

■ 山口市内の土産店や酒販店などで販売しています。

■ 瀬田温泉観光回遊施設 狐の足あと

カララケツメイ茶

カララケツメイは、黄色の花が咲くジャケツイバラ科の1年草。徳地エリアでは昔からよく飲まれている健康茶で、弘法大師が飲んでいたとの言い伝えから通称「弘法茶」とも呼ばれています。カララケツメイは、緑茶や紅茶と違ってカフェインが含まれていません。また、野草茶の中ではあっさりしていて万人受けします。

■ 南大門 ■ 重道の郷 ■ 特産品ショップ「やまぐちさん」 ■ 道の駅「仁保の郷」など

山口の伝統工芸品

大内塗



室町時代、大内氏による中国や朝鮮との交易で漆器が重要な輸出品とされ、いたるところに山口で漆工芸が盛んに行われました。天然木に大内朱と呼ばれる赤い朱色の漆を塗り重ね、色澤が揃った秋草模様と金箔の大内塗をあしらったのが特徴。盆、箱、皿、箸などさまざまな製品があります。国の伝統的工芸品指定されています。

大内人形



男女で対になった「大内人形」には、こんな逸話が伝えられています。24代大内弘世は、京の公家から美しい花嫁を迎えましたが、花嫁は遠く離れた郷を恋しく、毎日寂しがり思っていました。そこで、京から人形師を呼ばせ、屋敷中を人形で飾り、花嫁を喜ばせました。その後、花嫁は幸せな暮らしをしましたが、大内人形はこの逸話を伝えるために作られたとされています。

山口萩焼



萩焼は、萩市を中心に山口県下にも広がり、陶元が作られます。山口には、1890年、萩から移住した大和守陶元が、萩の火成土で焼かれた「萩焼」の製法を伝えています。萩焼は、土の性質によって、色や質感が異なります。現在、萩焼の火成土をうつす新窯を求め、陶芸家たちが山口萩焼を創り出しています。

中部Area【山口・小郡】

東鳳凰山・西鳳凰山

東鳳凰山(標高734.2m)、西鳳凰山(標高741.9m)と連なっており、どちらも登山道が整備されて登りやすい山です。東鳳凰山は「新日本百名山」に選ばれています。



08

山口情報芸術センター[YCAM]

展示スペース、劇場、ミニシアターと市中央図書館を併設した複合文化施設。インスタレーション展、パフォーマンス作品の公演、サウンドイベント、ワークショップ、映画上映などを開催。国内外のアーティストを招いた滞在制作によるオリジナル作品を鑑賞しようと、県外からも多くの人が訪れます。

開館時間/10:00~20:00
(イベント開催時は22:00)
閉館日/火曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12/29~1/3)
入館料/無料
TEL/083-901-2222



「見る」だけじゃない。メディアアートを楽しむ

巨大な大内人形?!

JR山口駅では、直径1.5mの木製大内人形「フシノのお殿様」「フシノのお姫様」がお出迎え。着物は、山口の名所や四季の風景がデザインされているので、くると見てみよう!



雪舟庭

紅葉シーズンには竹林と紅葉を同時に眺めることができ、一風変わった景観が楽しめる。雪舟庭の本堂では部屋の中から、庭園の横にある遊歩道では庭園を回りながら日本庭園の中に立つ紅葉を眺めることができる。(P7)



其中庵

俳人・種田山頭火が、昭和7年から昭和13年までの間に過ごした庵を平成4年に復元したもの。庭園や水琴窟のある休憩所、山頭火が使用していた井戸があります。
開館時間/9:00~17:00(10~4月)、9:00~18:00(5~9月)
入館料/無料
TEL/山口市小郡文化資料館 083-973-7071

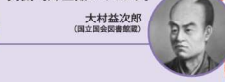
種田山頭火とは?

明治15年(1882)、山口県防府市に生まれました。世間から離れ、行脚の旅を続けながら、季節や五・七・五にとらわれない自由律句を世に送り出しました。



大村神社

山口市銭銭司出身で、日本の近代兵制の創始者である大村益次郎を祀る神社。境内からは近くの長沢池の全景が望めます。神社の周辺には、大村益次郎の墓、遺品や資料を展示した銭銭司郷土館があります。



新山口駅で出会える列車たち。

新山口駅は、山陽新幹線と3つの在来線が集まり、バスの発着も多く、山口県の交通の拠点となっています。新山口駅から伸びる在来線のうち、山口線はなんと非電化路線! エンジンで自走しています。全線車線のない特徴、黄色の車両が一面でカタコトと走る姿は、山口線らしい風景です。



木戸神社

維新三傑の一人・木戸孝允(桂小五郎)が祀られています。木戸はこの地に邸宅を構え山口藩庁での政務を行いました。亡くなるにあたり邸宅や山林を地区民に寄付し、子弟の学資とするよう遺言しました。



源久寺・木造平子重経坐像

〈重要文化財(木造平子重経坐像)〉

源久寺の開祖である平子重経は、鎌倉時代、源頼朝に仕えていた人物。鎌倉時代の彫刻の中で在家人の肖像は少なく、1991年には、イギリス大英博物館での「鎌倉彫刻展」に出品展示されました。



千葉県にある約二千年前の遺跡で見つかった種から採れたオオガハスを磨り受け替えたもの。開花時期は7月中旬~8月上旬。

古熊神社

〈重要文化財(神門・拝殿)〉

応安6年(1373)に大内弘世が京の北野天神を勧請したのが始まりで、元和4年(1618)に毛利秀就がこの地に遷宮したと伝えられています。本殿正面の三つの幕股(かえるまた)には松竹梅の彫刻があり、日本で建築の装飾に松竹梅の組み合わせを取り入れた最も古いものとして有名です。



清水寺

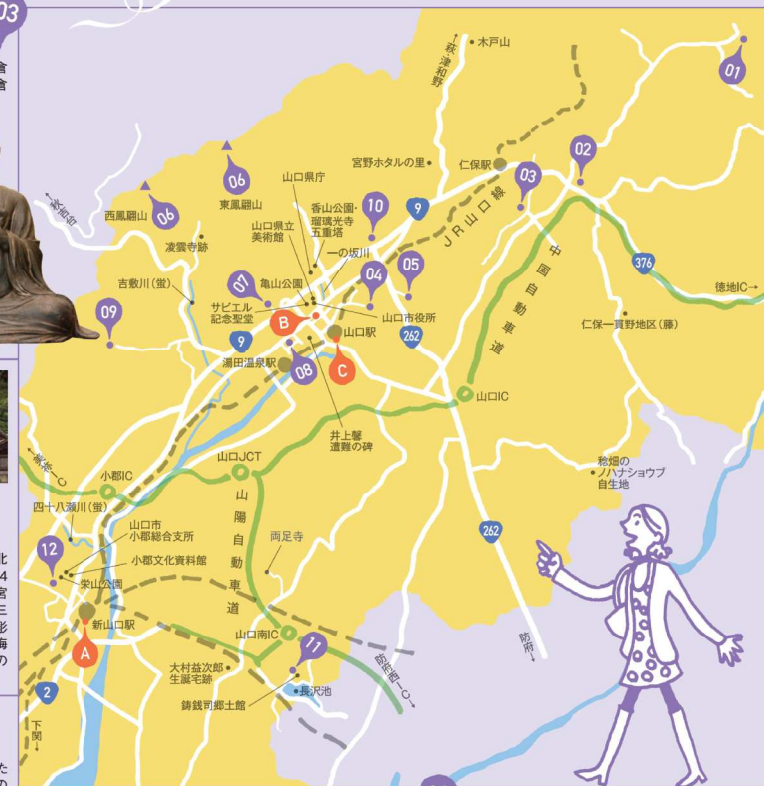
山門には、約600年前に製作された県下でも数少ない王像の傑作といわれる木造金剛力士像が安置されています。山門をくぐると長い石段の参道が続く。登りきると観音堂と山王社本殿があります。平城天皇(806-809)の創建と伝えられており、山口盆地の寺の多くが室町時代以降の創建であることを考えると、この周辺では最も古い寺といえます。



中部Area

【山口・小郡】

山口市の中部には、県庁をはじめ、さまざまな機関や施設が集まっている山口エリアと、新山口駅があり、交通の要衝となっている小郡エリアがあります。街、交通、自然、文化、歴史が融合した中部エリアの中から、訪れたい場所を見つけてください。



道の駅 仁保の郷

地元野菜、果物、特産品の直売所を中心に、菓子工房、餅工房、パン工房、レストランなどがあります。仁保川の清流に育まれた「カジカメ」、仁保出身の小説家・嘉村礒多ゆかりの「礒多が餅」などを販売。
営業時間/8:30~18:30
定休日/水曜日
TEL/083-929-0480

嘉村礒多生家・帰郷庵

私小説家・嘉村礒多の生家は築130年を経た古民家で、茅葺屋根や囲炉裏、五右衛門風呂があります。時間利用や宿泊利用が可能で古民家体験ができます。

お問い合わせ
山口市保地域交流センター
TEL/083-929-0433
(受付専用電話:平日8:30~17:15)



嘉村礒多とは?

明治30年(1897)、山口市仁保小郷に生まれました。渡仏万文な人生を描いた私小説を発表注目を浴びましたが、病でわずか35歳の生涯を閉じました。



南部Area

【秋穂・阿知須】

山口市の南部は、瀬戸内海に面していることから年間を通して温暖な気候が特徴。瀬戸内海が見渡せるビュースポットが多くあります。車えびが特産の秋穂エリアと、居蔵造りの町並みで知られる阿知須エリアで、潮風を感じながらお過ごしください。



山尾庸三が寄進
参道の灯籠は、幕末、長州藩からヨーロッパに密かに留学した「長州五傑」の一人である山尾庸三が寄進したもの。



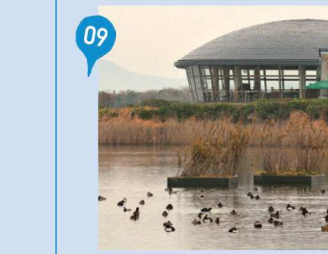
05 朝日山
真照院
高さが約70mの朝日山の中腹にある朝日山真照院は、千年以上に創設されたといわれる寺で、秋穂八十八カ所の中心霊場。眺望が良く、瀬戸内海が一望できるビュースポットでもあります。



06

国民宿舎
海眺の宿 あいお荘
瀬戸内海を見渡せる絶好のロケーション。高台に設置された露天風呂からの風景は格別、周防灘を一望するパノラマを眺めながら温泉を楽しめます。

入浴料/大人(中学生以上)550円、小学生・幼児(3歳以上)300円
外来入浴営業時間/10:00~20:00
TEL/0120-84-2202



09

きらら浜自然観察公園
渡り鳥の交差点として多くの野鳥が訪れます。ビジターセンターでは、望遠鏡を使って様々な野鳥を観察することができ、レンジャー(自然解説指導員)が野鳥や自然について解説してくれます。

開園時間/9:00~17:00
(入館は16:30まで)
休園日/月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28~1/4)
入館料/大人200円、18歳以下無料
TEL/0836-66-2030



08

山口きらら博記念公園
2001年に開催された山口きらら博のメイン会場を整備した公園。多目的ドーム、サッカー・ラグビー場・水泳会場などスポーツ施設のほか、水遊びができる月の海、トリムコースやネット遊具で遊ぶリムの広場など体感型の施設も充実しています。

利用時間/9:00~22:00
トリムの広場 9:00~18:00
(11月~4月は17:00まで)
休園日/12/29~1/3
※休園日以外でも、保守点検等のため施設を利用できない場合があります。
TEL/0836-65-6903



道の駅 きららあじす

地元野菜や特産品の販売のほか、パン工房、もち工房、軽食コーナー、鮮魚売場、レストラン併設した道の駅。特産品のかばや「くりまさる」を使った様々な商品も販売しています。

営業時間/8:00~21:30(店舗により異なります)
定休日/不定休
TEL/0836-66-1001



11



4

阿知須のひなもん。
手作りのちりめん細工の人数や陶をつなぎ、天井からいっばいにつるす「ひなもん」。鮮やかな色合いや、ちりめん細工のかわいらしい姿が見る人の心をつかみます。毎年2月に阿知須商店街にひなもんを飾り付ける「ひなもんまつり」を開催。



阿知須温泉
日本で屈指のランダム含有量を誇る阿知須温泉。リウマチ、神経系統諸病に効能がある無色透明の単純硫黄放射能冷鉱泉。

12



10

阿知須 いぐらの館
阿知須エリアには居蔵造りの町並みが残っており、明治17年に建てられた中川家はその造りを代表するもの。現在は「旧中川家住宅(愛称:阿知須いぐらの館)」として一般公開されています。

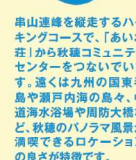
開館時間/10:00~16:00
入館料/無料
休館日/水曜日・木曜日・祝日の翌日・年末年始
TEL/0836-65-2403

居蔵造りの町並み
江戸中期から明治初期にかけて造船業が栄えた阿知須エリア。建物が密集していたため、造船業の人たちが、火事から家を守るため、瓦葺の屋根、漆喰で塗り固めた大壁、泥戸など防火機能に優れた「居蔵造り」の建物を建てました。阿知須浦地区には、今でもその町並みが残っています。



串山遊歩道展望台からの眺め

串山遊歩道



串山遊歩道を走るハイキングコースで、「あいお荘」から秋穂コミュニティセンターをつないでいます。近くは九州の国東半島や瀬戸内海の島々、中道海水浴場や周防大橋など、秋穂のパノラマ風景が満喫できるロケーションの良さが特徴です。

宇部IC



道の駅 あいお

車えびをイメージして建てられたユニークな建物。毎朝漁船から仕入れる新鮮な瀬戸内海の魚介や海産物、地元の農産物を販売しています。

営業時間/9:00~18:00
定休日/第2・4水曜日・年末年始
TEL/083-984-5704

04 草山公園

秋穂エリアの南端にある標高116mの草山。遊歩道の途中には1,000本の桜や東屋、山頂には高さ約11mの白い灯台があり瀬戸内海を広く見渡せます。駐車場から草山灯台台場まで徒歩10分かかりますが、波の音を聞きながら散策を楽しめます。



中道海水浴場

弓なりにのびる砂浜が美しい中道海水浴場。海水浴だけでなく、ウィンドサーフィンやヨットなどマリンスポーツも人気。8月に行われる「えび狩り世界選手権大会」の会場です。



秋穂八十八ヶ所霊場めぐり

第一番 大師寺

天明3年(1783)、盛光院の住職であった性海法印が開いた霊場。性海法印は、四国八十八ヶ所を巡り、各霊場から御符と霊場の土を持ち帰りました。その後、秋穂などの地に八十八ヶ所の地を選び、それぞれの地に霊場の砂を散布し、御符を供えて礼所にしたのが始まりといわれています。秋穂八十八ヶ所は、正八幡宮境内の大師寺を第一番に巡礼には約2日間かかります。



車えび養殖発祥の地。

秋穂エリアは、世界で初めて車えび養殖事業が始まった地。山口県萩市出身で「車えび博士」とも呼ばれた藤永元作氏が、興業された塩田跡で車えびの養殖を事業化しました。秋穂エリアには、車えびを提供する飲食店や車えびを販売している店舗が多数あります。



北部Area【阿東・徳地】

野谷・岸見の石風呂

〈国指定史跡(野谷の石風呂)・
国指定重要有形文化財(岸見の石風呂)〉

重源上人が材木調達に従事した人々の保養のために始めた蒸風呂。野谷の石風呂は巨岩に横穴を掘って利用されていました。岸見の石風呂は、今も入浴体験ができます。

負担金／1回10,000円(事前予約・複数利用可)
お問い合わせ／山口市岸見石風呂保存会(伊藤)
TEL／090-8715-0693



森林セラピー基地

大原湖周辺は、森林セラピー基地に認定されています。愛鳥林エリア、大原湖畔エリア、長者ヶ原エリアがあり、体力に応じてコースを選ぶことができます。徳地の森の魅力を深く知る「森の案内人」が案内してくれます(要予約)。

案内人料金／半日:案内人一人2,000円
全日:案内人一人3,000円
お申し込み／徳地農林振興事務所
森林活用・セラピー担当
TEL0835-52-1122

森が持つ癒し効果を科学的に解明し、心と体の健康づくりに活かしているという取り組み。「空気がおいしい」「景色がきれい」など、森の中で目や耳、鼻、手足を思いのままに楽しむことができることでリラックス効果がより高まるといわれています。

森林セラピーとは?



特産品・特産物加工販売所 南大門

徳地エリアの新鮮野菜や特産品の販売所。観光や足跡の紹介など、徳地エリアの情報収集もできます。

開館時間／9:00～18:00
休館日／年中無休(12/31～1/2除く)
TEL／0835-52-1772

月輪寺薬師堂

〈重要文化財〉

山口県下最古の木造建造物といわれています。一重寄棟造茅葺の簡素ながら調和のとれた様式が特徴。文治5年(1189)、重源上人が藤原兼実の協力を得て建立したものと伝えられています。



口ハス島温泉

岩風呂とヒノキ風呂がある源泉掛け流しの温泉施設。食事処、農産物直売所、特産品販売所も備えています。

入浴時間／10:00～20:00(受付19:00まで)
休館日／水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
入浴料／大人(中学生以上)510円、小学生250円、乳幼児無料、貸タオル100円
TEL／0835-54-4545



長門峡(国指定名勝)

川の水に浸食されてできた深谷で、切り立った崖が両岸から迫り、奇岩や滝、深淵など独特の景観が広がります。道の駅から竜宮湖まで総距離約5.55km。ハイキングコースとしても楽しめます。新緑や紅葉の季節の美しさは格別。



道の駅 長門峡

長門峡の入口にある道の駅。情報案内コーナー、特産品販売所、レストランがあります。レストランでは、あとう牛を使ったメニューを提供。

営業時間／9:30～18:00
(レストラン)11:00～19:00
(オーガーストップ 18:00)
定休日／第2火曜日
TEL／083-955-0777



ふれあいパーク大原湖

ケビン、オートキャンプサイトがある湖畔のキャンプ場。カヌー体験、フッシング、マウンテンバイク、森林ウォーキングが体験できます。

TEL／0835-58-0200



重源の郷

茅葺き屋根や水車など、昔懐かしい山村風景を再現した体験交流公園。紙漉きや木工、竹細工、紙細工などの体験ができます。

営業時間／9:30～17:00(5月～10月)
9:30～16:30(11月～4月)
定休日／水曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/27～1/3)
入郷料／大人500円、小人300円
TEL／0835-52-1250

徳地の木が東大寺に!

平安時代末期、源平の戦いで東大寺は焼失しました。義利元年(1181)、東大寺再建の責任者に任命された重源上人は、佐渡川上流の徳地の地を訪れ、山奥から大量の巨木を切り出して、東大寺の材木としました。巨木の伐採や運搬は困難を極めたが、新技術を導入することで大量の巨木を奈良へ送ることができました。再建した当時のものとして、東大寺南大門が現存しています。



静御前の伝説

源義経に愛された静御前。晩年の消息については不明な点が多く、日本各地に伝説が残されています。阿東の地には古くから静御前が徳と共に都を落ち、大内氏が治める阿東の地で、ひっそりと終焉を迎えたとの伝説が言い伝えられています。墓所と思われる場所に宝篋印塔(ほうきょういんとう)が残されています。



十種ヶ峰

標高989mの十種ヶ峰は、別名「長門富士」とも呼ばれています。登山、キャンプ、スキー、バフフライダーで、スキー場ゲレンデを使ったマウンテンバイクダウンヒル(初心者用コースやレンタルバイクあり)や、周辺田園地帯を走るロードバイクレンタルもありです。アウトドアスポットとして四季を通して楽しむことができます。

TEL／十種ヶ峰オートキャンプ場 083-958-0809
スキー場 083-958-0547



徳佐八幡宮

参道の両側にしだれ桜とエドヒガン桜が約250本植えられている桜の名所。毎年4月上旬には満開のサクラが参道にトンネルを作り、多くの花見客が訪れます。

柚木慈生温泉

炭酸ガス、カルシウム、ナトリウムなどの成分を大量に含む全国でもまれにみる優れた泉質の温泉。湯治利用の方が多く訪れます。

営業時間／10:00～20:00
定休日／毎月5日・18日
利用料金／大人入湯料、休憩料各500円、3才以下小学生以下入湯料、休憩料各200円
TEL／0835-58-0430



滑の三本杉

滑国有林北部に立っている3本の天然杉。樹高約40m、樹齡約300年におよぶ巨木で、林野庁「森の巨人たち100選」に指定されています。



常德寺庭園(国指定名勝)

本堂の東側に池泉式鑑賞庭園があります。常德寺庭園は、雪舟作ではないかという伝承記録があり、石組の構成が雪舟の作庭に似ているといわれています。他に例のない岩盤削り出しの滝石組や猿山の独特な作庭技法、鍾乳洞の霊水の取り入れ等が判明し、優れた作庭として価値が認められています。



観光農園

阿東エリアでは、りんご・梨・ぶどうの観光農園が多数点在しています。特に、特産のりんごは15,000本を数える西日本最大の観光りんご園として親しまれ、リンゴ狩りはもちろん、太陽をいっぱい浴びた新鮮でおいしいりんごをその場で味わうことができます。

TEL／NPOあとう 090-956-2526

北部Area

【阿東・徳地】

山口市の北部は、中国山地の山間部にあたることから、山や森林、湖、渓谷など緑あふれる自然と出会うことができます。名勝長門峡のある阿東エリアと、森林セラピー基地のある徳地エリアで自然をたっぷり満喫してください。

道の駅 願成就温泉

日帰り温泉が楽しめる道の駅で、日本庭園風の広々とした露天風呂があります。※現在改装中のため休業中。平成30年3月中旬にリニューアルオープン予定。

TEL／083-957-0118



歴史ある山口では、山口祇園祭や山口セタちようちんまつりなど、何百年も前から伝わる伝統行事が大切に守られています。また、地域性を活かしたユニークなイベントも開催されています。

山口イベント カレンダー

山口セタちようちんまつり

【8月上旬】

約600年前から続く祭り。竹に付けたちようちん飾りが、街を赤く染めます。数万個の紅ちようちんが幻想的な光を放ち、商店街は紅ちようちんのトンネルで美しく彩られます。ちようちん山笠の巡行も行われます。

場所／山口市中心商店街、パークロードほか

春

湯田温泉
白狐まつり



「白狐が見つけた湯」という湯田温泉の伝説に因んで、白狐たまりまつりなどが催されます。期間中は、旅館内の内湯が割引で開放されます。



山口ゆらめき回廊
【9月中旬】
国宝瑠璃光寺五重塔がある香山公園の散策道に、約1000個のキャンドルライトが灯され、幻想的な雰囲気味わえます。期間中は日替わりで、コンサートも開催されます。



夏

ほたる観賞
Week!
【5月下旬～6月上旬】

「の坂川に乱舞する国の特別天然記念物」ゲンジボタル。ホタルを観賞しやすいよう、兩岸の道路に交通規制を行います。期間中の土曜日には、各種イベントが開催されます。



アートふる山口
【10月上旬】
「アートふる」とは、「アート」が「降る（fall・フル）」という意味の造語。の坂川、豎小路周辺の一般の民家やお店などが懐かしいものや美術品、作品展示などを行い、地区全体が美術館になります。



秋

山口祇園祭
【7月20日～27日】

室町時代に大内氏が京都から勧請した八坂神社の例祭で、約600年続いている伝統ある祭。初日は、八坂神社で、舞の舞が奉納されたあと、祇園囃子や御神輿が御旅所まで練り歩きます。中日には、市民総踊りが行われます。



湯田温泉酒まつり
【10月中旬】
全国でも高い評価を受けている山口の地酒。約18の蔵元の日本酒が湯田温泉の飲食店を巡りながら味わえます。山口の地酒と食が堪能できるイベントです。



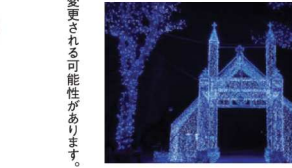
冬

えび狩り
世界選手権大会
【8月下旬】

活きた車えびを海水浴場の十湯に放し、参加者が一斉に手で捕まえる大会。捕まえた車えびの数を競います。車えび養殖発祥の地秋穂を代表するイベントで、毎年抽選になるほどの人気です。



12月、山口市は
クリスマス市になる。
【12月】
日本のクリスマス発祥の地である山口。市内各所で「12月、山口市はクリスマス市になる。」を合い言葉に、イルミネーションなどクリスマス関連イベントが行われ、クリスマスを祝います。



花のみどころ

- 香山公園・瑠璃光寺 [中部／3月下旬～4月上旬／約170本]
- 重源の郷 [北部／4月中旬～上旬／約900本]
- 長沢池 [中部／3月下旬～4月上旬／約140本]
- 一の坂川 [中部／3月下旬～4月上旬／約200本]
- 大原湖岸 [北部／3月下旬～4月上旬／約600本]
- 岡山霊廟塔周辺 [南部／3月下旬～4月上旬／約125本]
- 古熊神社 [中部／3月下旬～4月上旬／約150本]
- 木戸山 [中部／3月下旬～4月上旬／約300本]
- 栄山公園 [中部／3月下旬～4月上旬／約150本]
- 草山公園 [南部／3月下旬～4月上旬／約1,000本]
- 木戸公園 [中部／3月下旬～4月上旬／約300本]
- 亀山公園 [中部／3月下旬～4月上旬／約30本]
- 徳佐八幡宮しだれ桜 [北部／4月上旬～中旬／約250本]

- 亀山公園 [中部／4月下旬～5月上旬／約1,000株]
- 県庁澤園 [中部／5月中旬／約1,000株]
- 一の坂川 [中部／4月下旬～5月中旬／約1,000株]

ぼたん

- 龍蔵寺 [中部／4月下旬～5月上旬／約1,200株]

菜の花

- 八十八所街道沿 [南部／4月上旬～5月上旬]

菖蒲

- 松畑のノハナショウブ自生地 [中部／6月中旬]

紫陽花

- 重源の郷 [北部／6月下旬～下旬／約5,000株]

はす

- 源久寺 [中部／7月中旬～8月上旬]

ゆうすげ

- 船平山 [北部／7月中旬～下旬／約1ha]

紅葉

- 龍蔵寺 [中部／11月上旬～下旬]
- 木戸公園 [中部／10月下旬～11月下旬]
- 龍蔵寺 [中部／11月中旬]
- 両足寺 [中部／11月中旬～下旬]
- 妙見社の大イチョウ [北部／10月中旬～11月中旬]
- 滑峽 [北部／10月中旬～11月中旬]
- 長門峽 [北部／10月下旬～11月中旬]

梅

- 其中庵 [中部／2月初旬～3月初旬]
- 香山公園 [中部／2月初旬～3月初旬／約40本]
- 赤崎神社 [南部／2月初旬～3月初旬]
- 重源の郷 [北部／2月初旬～3月初旬]

椿

- 両足寺 [中部／3月／2本]

蛍のみどころ

- 一の坂川 [中部／5月下旬～6月上旬]
- 宮野水タルの里 [中部／5月下旬～6月中旬]
- 吉敷川 [中部／5月下旬～6月上旬]
- 四十八瀬川 [北部／5月下旬～6月上旬]
- 佐田川取水 [北部／6月中旬]
- 緑地帯一帯 [北部／6月中旬]
- 重源の郷 [北部／6月中旬]

- 阿知須ひなま祭り [2月上旬～中旬] 場所／阿知須南生街高倉神社
- 阿知須ひなま祭り [2月上旬～中旬] 場所／阿知須南生街高倉神社

ぶらり 山口

Bu-Ra-Li

Yamaguchi city
Guide Book



観光案内所

【新山口駅観光案内所】

所在地／山口市小郡下郷1357
(新山口駅新幹線口2階)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-972-6373

【山口観光案内所】

所在地／山口市惣太夫町2-1
(山口駅1階)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL・FAX／083-933-0090

【湯田温泉観光案内所】

所在地／山口市湯田温泉2丁目1-23
(県道204号線沿い)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／観光案内 083-901-0150
宿泊案内 083-922-1811
FAX／083-901-0151

【香山公園前観光案内所】

所在地／山口市香山町6-11
(瑠璃光寺五重塔そば)
営業時間／9:00～18:00
休業日／年中無休
TEL／083-934-6630
FAX／083-934-6629

湯田温泉観光回遊拠点施設

【狐の足あと】

所在地／山口市湯田温泉2-1-3
営業時間／8:00～22:00
休業日／年中無休
TEL／083-921-8818



観光のお問い合わせ

【山口観光コンベンション協会】

所在地／山口市惣太夫町2-1(山口駅2階)
TEL／083-933-0088
FAX／083-933-0089
Eメール／info@yamaguchi-city.jp

【山口観光コンベンション協会 秋穂支部】

所在地／山口市秋穂東6823番地1
TEL／083-984-3741

【山口観光コンベンション協会 徳地支部】

所在地／山口市徳地伊賀地492-1
TEL／080-2916-8878
Eメール／tokudi2005@yahoo.co.jp
http://www.tokudi-kankou.jp/

【NPOあとう】

所在地／山口市阿東徳佐中3628
TEL／083-956-2526
FAX／083-956-2527
Eメール／npo-ato@c-able.ne.jp
http://www.ato-kankou.org/

【湯田温泉旅館協同組合】

所在地／山口市湯田温泉5-2-20
TEL／083-920-3000
Eメール／yudaspa@c-able.ne.jp
http://www.yudaonsen.com/

【山口市観光課】

所在地／山口市亀山町2-1
TEL／083-934-2810
FAX／083-934-2649
Eメール／kanko@city.yamaguchi.lg.jp
http://www.city.yamaguchi.lg.jp/

山口市観光情報サイト

西の京やまぐち

検索

<http://yamaguchi-city.jp/>



湯田温泉のことなら

湯田温泉 狐の足あと

検索

<http://www.yuda-onsen.jp/>

